

| | |
|------|------|
| 通し番号 | 3706 |
|------|------|

| | |
|------|-------------|
| 分類番号 | 12-4B-12-05 |
|------|-------------|

| | |
|--|------------------|
| (成果情報名)バラ新品種‘湘南 キャンディ レッド’の育成 | |
| [要約]切り花用赤系スプレーバラ‘湘南 キャンディ レッド’を育成した。花色は、花弁表面が濃い赤、裏面がややピンク味を帯びた赤色で美しく、花形は抱え咲きに近いカップ咲き、半剣弁でやや大きめの花を咲かせる。草姿は、1茎の花数が5輪程度で、側蕾が少なく、花の高さが良く揃う。養液耕栽培において生産性が高く、市場性も良好であった。 | |
| (実施機関・部名)農業総合研究所 生物資源部 | 連絡先 0463-58-0333 |

[背景・ねらい]

県内バラの生産振興をはかるため、花色、花形、草姿に優れ、生産性の高い新品種を育成する。また、その特性を明らかにし、普及、利用の資料とする。

[成果の内容・特徴]

1 育成経過

1996年5月、当所ビニールハウス内において、当所育成の中間母本同士の交配を行い、得られた種子を同年11月に播種し、花形、花色に優れるものを選抜した。

2 ‘湘南 キャンディ レッド’の特性

花色は花弁表面が濃赤(日本園芸植物標準色票カラーコード0408)、裏面が鮮紅(同0107)で、裏面がややピンク味を帯びた赤色である。花形は抱え咲きに近いカップ咲き、花弁のタイプは半剣弁、花弁数は平均41枚とやや多く、花径は6.2cm程度とスプレータイプとしては大きめの花を咲かせる(表1、表2)。草姿は、1茎の花数は5輪程度で、側蕾は少なく、花の高さが良く揃う。枝の長さは60cm前後で、花柄は平均8.6cmと長い(表3)。

3 生産性及び市場性

養液栽培における収量は高く、冬期でも比較的安定した収量が得られた(図1)。切り花品質も良好で、特に冬期～春期にかけて高品質な切り花が多く得られた。生産者ほ場における現地試験では、収量が多少低かったものの、平均的に単価は高く、市場性は良好であった(表4)。

[成果の活用面・留意点]

1 品種登録出願申請中

2 県内バラ生産者より、栽培希望が寄せられており、今後県内の養液耕栽培農家を中心に生産が広まるものと思われる。神奈川県勤務発明品種のため、種苗の生産には許諾契約が必要となる。

[具体的データ]

表1 ‘湘南 キャンディ レッド’ の花色特性

| 蕾 | 花弁表面 | 花弁基部 | 花弁裏面 |
|-----------|-----------|------------|-----------|
| 鮮紅 (0107) | 濃赤 (0408) | 淡緑黄 (2702) | 鮮紅 (0107) |

日本園芸植物標準色票による。()内の数字はカラーチャートの番号。

表2 ‘湘南 キャンディ レッド’ の花形質における主要特性

| 花形 | 弁型のタイプ | 花径(cm) | 花の高さ(cm) | 花弁数(枚) |
|-------|--------|--------|----------|--------|
| カップ咲き | 半剣弁 | 6.2 | 3.3 | 41.8 |

表3 ‘湘南 キャンディ レッド’ の草姿における主要特性

| 1茎の花数 | 花茎の長さ(cm) | 花茎の太さ(mm) | 花柄の長さ(cm) | 花柄の太さ(mm) |
|-------|-----------|-----------|-----------|-----------|
| 5.1 | 62.6 | 4.6 | 8.6 | 2.2 |

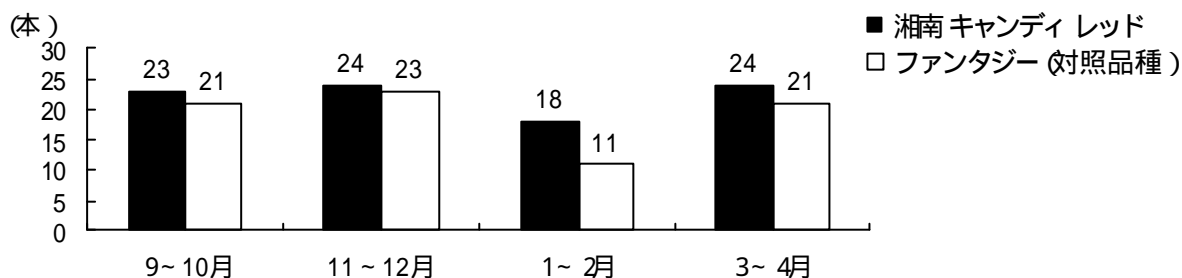


図1 養液栽培における '湘南 キャンディ レッド' および対照品種の切り花本数 (10株当たり)

表4 ‘湘南 キャンディ レッド’ の現地における収量と平均単価

| 生産者 | 調査期間 (月) | 平均採花本数 (本/坪/月) | 平均単価 (円) |
|---------|----------|----------------|----------|
| A 農家 | 10~4 | 21.2 | 101 |
| B 農家 | 12~4 | 17.1 | 98 |
| C 農家 1) | 2~4 | 16.0 | 132 |
| D 農家 2) | 8~4 | 9.5 | 81 |

- 1) 採花は、11月上旬より
- 2) 直売を含む

[資料名] 平成12年度試験研究成績書 (花き・観賞樹)

[研究課題名] 花き類の新品種育成

[研究期間] 昭和62年~

[研究者担当名] 原 靖英